

プログラム

【第1日目】7月30日（木）

講演会場

ニューオータニイン札幌「2F 鶴の間（東中）」

開会式

9:00 ～ 9:10

シンポジウム 1

9:10 ～ 10:40

司会：日浅 陽一（愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学）
中本 伸宏（慶應義塾大学医学部 内科学消化器）

「肝免疫微小環境の新知見」

S1-1 肝胆道癌における免疫微小環境の形成機構—炎症・発癌から癌免疫療法まで—

○中川 勇人（なかがわ はやと）
三重大学大学院医学系研究科消化器内科学

S1-2 NRF2-COX2-PGE₂軸による複合免疫療法抵抗性機序の解明

○小玉 尚宏（こたま たかひろ）、山本 修平、明神 悠太、前阪 和城、田畑 優貴
大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学

S1-3 B型慢性肝炎患者における末梢血CD14⁺単球由来IL-1βの血清HBs抗原低下への関与と予測因子としての有用性

○滋野 聡（しげの さとし）、村井 一裕、染谷 愛美、安田 健太郎、田畑 優貴、
疋田 隼人、小玉 尚宏
大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学

S1-4 B型肝炎リスクとなる免疫微小環境の空間—細胞解析

○松田 道隆（まつだ みちたか）¹⁾、杉山 真也²⁾、長谷川 潔³⁾、考藤 達哉¹⁾
1) 国立健康危機管理研究機構、肝炎・免疫研究センター、肝疾患研究部、
2) 国立健康危機管理研究機構、肝炎・免疫研究センター、感染病態研究部、
3) 東京大学大学院医学系研究科、臓器病態外科学、肝胆膵外科

S1-5 空間トランスクリプトミクスによるFontan関連肝疾患における疾患特異的な肝微小環境の解明

○中代 幸江（なかだい ゆきえ）¹⁾、谷木 信仁¹⁾、種村 修平¹⁾、藏本 純子²⁾、住友 直文³⁾、
小平 真幸⁴⁾、山岸 敬幸³⁾、春日 良介¹⁾、上野 真¹⁾、田淵 貴也¹⁾、岡田 はるか¹⁾、
碓井 真吾¹⁾、尾城 啓輔¹⁾、中本 伸宏¹⁾、金井 隆典¹⁾
1) 慶應義塾大学医学部内科学(消化器)、2) 慶應義塾大学医学部 病理学、
3) 慶應義塾大学医学部 小児科学、4) 慶應義塾大学医学部 内科学(循環器)

S1-6 原発性胆汁性胆管炎の病態形成におけるGBP5の関与の検討

○相葉 佳洋(あいば よしひろ)¹⁾、植野 和子²⁾、人見 祐基³⁾、西田 奈央⁴⁾、長崎 正朗⁵⁾、
徳永 勝士²⁾、中村 稔^{1,5,6)}

- 1) NHO 長崎医療センター 臨床研究センター、
- 2) 国立健康危機管理機構 国立国際医療研究所 ゲノム医科学プロジェクト、
- 3) 福島県立医科大学医学部附属 生体情報伝達研究所 生体物質研究部門、
- 4) 東京科学大学 難治疾患研究所 バイオデータ科学研究部門 ゲノム機能多様性分野、
- 5) 九州大学生体防御医学研究所 バイオメディカル情報解析分野、
- 6) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 新興感染症病態制御学系専攻 肝臓病学講座

S1-7 細胞外ATPを標的とした肝虚血再灌流障害の軽減

○吉田 理(よしだ おさむ)、島本 豊伎、矢野 怜、岡崎 雄貴、中村 由子、行本 敦、
渡辺 崇夫、徳本 良雄、廣岡 昌史、阿部 雅則、日浅 陽一

愛媛大学 消化器・内分泌・代謝内科学

S1-8 MDA5はPI3k/Aktシグナルを介した脂肪肝炎の進展に関与する

○川口 章吾(かわぐち しょうご)^{1,2)}、太田 真二¹⁾、平賀 寛人³⁾、立崎 真幸²⁾、今泉 忠淳²⁾、
櫻庭 裕丈¹⁾

- 1) 弘前大学大学院 医学研究科 消化器血液免疫内科学講座、
- 2) 弘前大学大学院 医学研究科 血管・炎症医学講座、
- 3) 弘前大学大学院 保健学研究科 生体検査科学領域

教育講演 1 (スポンサードセミナー)

10:50 ~ 11:20

座長：荒川 智宏(札幌厚生病院 消化器内科(肝胆脾内科))

肝癌におけるがん免疫微小環境とVEGF阻害の意義

○鳥越 俊彦(とりごえ としひこ)

札幌医科大学 名誉教授

共催：中外製薬株式会社

一般演題 1

11:20 ~ 11:56

司会：大平 弘正(福島県立医科大学附属病院)

01-1 FADS2ヘテロノックアウトマウスにおける脂肪肝炎の増悪機構

○今 一義(こん かずよし)、石塚 敬、池嶋 俊亮、内山 明、山科 俊平、池嶋 健一

順天堂大学医学部 大学院医学研究科 消化器内科学

01-2 Glycoprotein non-metastatic melanoma protein Bはマクロファージにおける貪食後の分解過程を促進する

○熊谷 公太郎(くまがい こうたろう)¹⁾、豊留 亜衣¹⁾、坂江 遙¹⁾、小田 耕平¹⁾、馬渡 誠一¹⁾、
田ノ上 史郎²⁾、上村 修司¹⁾

- 1) 鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学、2) 鹿児島大学大学院 疫学・予防医学

01-3 肝癌細胞に対するLactobacillus caseiによる抗腫瘍効果と免疫チェックポイント阻害薬との相乗効果の可能性

○太田 雄(おた ゆう)、大竹 晋、林 秀美、澤田 康司、麻生 和信、藤谷 幹浩
旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野

01-4 肝がん局所環境に高効率で薬剤放出を可能とする近赤外線応答型薬物送達システム開発

○仁科 惣治(にしな そおじ)¹⁾、新井 敏²⁾、日野 啓輔³⁾
1) 川崎医科大学 消化器内科学、2) 金沢大学ナノ生命科学研究所、
3) 周南記念病院 消化器病センター

ランチョンセミナー 1

12:10 ～ 13:00

座長：土屋 輝一郎（筑波大学医学医療系 消化器内科）

「クローン病治療戦略：抗IL-23p19抗体スキリージの有用性」

基礎免疫学から読み解くクローン病治療戦略：抗IL-23p19抗体スキリージの有用性

○三上 洋平(みかみ ようへい)
慶應義塾大学医学部内科学（消化器）

リアルワールドエビデンスから読み解くクローン病治療戦略：抗IL-23p19抗体スキリージの有用性

○藤井 俊光(ふじい としみつ)
東京科学大学 消化器連携医療学／
東京科学大学病院 潰瘍性大腸炎・クローン病先端医療センター

共催：アッヴィ合同会社

特別講演 1

13:10 ～ 14:00

座長：坂本 直哉（北海道大学大学院医学研究院 内科学講座消化器内科学教室）

腸内細菌関連物質の肝移行と肝がん微小環境形成

○大谷 直子(おおたに なおこ)
大阪公立大学大学院医学研究科

アフタヌーンセミナー 1

14:10 ～ 15:00

座長：櫻庭 裕丈（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座）

腸肝相関から考える肝硬変、門脈圧亢進症と肝性脳症への対応

○日浅 陽一(ひあさ よういち)
愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学

共催：あすか製薬株式会社

座長：久松 理一（杏林大学医学部 消化器内科学）

腸内環境に基づく層別化医療・ヘルスケアの現在と未来

○福田 真嗣（ふくだ しんじ）

慶應義塾大学先端生命科学研究所

共催：ミヤリサン製薬株式会社

一般演題 2

15:40 ~ 16:16

司会：長沼 誠（関西医科大学 医学部）

02-1 E-NPP7による回腸管腔内スフィンゴ脂質代謝による上皮バリア維持機構

○香山 尚子（かやま ひさこ）^{1,2)}、糸井 啓之^{2,3)}、竹田 潔²⁾

1) 大阪大学 高等共創研究院、2) 大阪大学大学院 医学系研究科 免疫制御学、
3) 滋賀医科大学 消化器内科

02-2 パネート細胞オートファジー破綻とストレス応答異常

○生駒 萌香（いこま もえか）¹⁾、大嶋 奏羽¹⁾、山口 純司¹⁾、柿沼 晴¹⁾、Cadwell Ken²⁾、
松沢 優¹⁾

1) 東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 疾患生理機能解析学分野、
2) Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Medicine,
University of Pennsylvania Perelman School of Medicine

02-3 糖鎖—レクチン相互作用による腸管上皮内リンパ球の上皮間隙局在メカニズムの解明

○奥村 龍（おくむら りゅう）^{1,2)}、榊 溪¹⁾、竹田 潔^{1,2)}

1) 大阪大学大学院医学系研究科 免疫制御学、
2) 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 粘膜免疫学

02-4 難治性クローン病におけるIFN λ 依存性小腸上皮障害

○大嶋 奏羽（おおしま かなう）¹⁾、生駒 萌香¹⁾、山口 純司¹⁾、加藤 祐己²⁾、山本 くらら²⁾、
森川 亮³⁾、藤井 悟³⁾、根本 泰宏³⁾、岡本 隆一³⁾、柿沼 晴¹⁾、Cadwell Ken⁴⁾、
松沢 優¹⁾

1) 東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 疾患生理機能解析学分野、
2) 東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 人体病理学分野、
3) 東京科学大学大学院 医歯学総合研究科 消化器病態学分野、
4) Division of Gastroenterology and Hepatology, Department of Medicine,
University of Pennsylvania Perelman School of Medicine

司会：岡本 隆一（東京科学大学大学院医歯学総合研究科 消化器病態学分野）
松岡 克善（東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科）

「腸管免疫学の多層解析 ― 遺伝子・細菌叢・再生から臨床へ」

S2-1 蛍光色素変換システムを用いた、腸炎惹起性循環性メモリーT細胞の定量化とサブセット解析

○内田 仁（うちだ ひとし）¹⁾、柴山 奈々¹⁾、根本 泰宏¹⁾、松本 千慶¹⁾、米本 有輝²⁾、
森川 亮²⁾、岡本 隆一¹⁾

1) 東京科学大学大学院医歯学総合研究科消化器病態学分野、2) 東京科学大学病院消化器内科

S2-2 腸管慢性炎症における腸管マクロファージのエピジェネティクスー遺伝子発現・機能の変化

○根本 展希（ねもと のぶき）、三好 潤、小栗 典明、和田 晴香、西成田 悠、松浦 稔、
久松 理一

杏林大学医学部消化器内科学

S2-3 DSS誘発性大腸炎におけるL型アミノ酸トランスポーター1(LAT1)の機能解析

○岡本 典大（おかもと のりひろ）¹⁾、隋 雲竜²⁾、星 奈美子¹⁾、上門 弘宜¹⁾、河瀬 陽菜¹⁾、
青山 雄一郎¹⁾、白木 文¹⁾、中村 碩孝¹⁾、阿河 美崎¹⁾、伊藤 裕貴¹⁾、宮崎 はる香¹⁾、
渡邊 大輔¹⁾、大井 充¹⁾、児玉 裕三¹⁾

1) 神戸大学医学部附属病院消化器内科、2) 広州大学第二病院消化器内科

S2-4 腸管―肝臓―脳軸を標的とする腸炎治療法の開発

○寺谷 俊昭（てらたに としあき）、須永 将梧、宮本 健太郎、鈴木 貴博、小日向 優希、
三上 洋平、中本 伸宏、金井 隆典

慶應義塾大学医学部消化器内科

S2-5 Cross-species reactive IgA抗体による有用菌/病因菌識別機構の解明

○古谷 弦太（ふるや げんた）、白井 文人、高橋 慧崇、佐々木 建吾、森田 直樹、
高 鵬、新藏 礼子

東京大学定量生命科学研究科 免疫・感染制御研究分野

S2-6 大腸腫瘍の癌化プロセスにおける粘膜関連細菌叢 Dysbiosisと機能性変化の検討

○木村 剛徳（きむら よしのり）、野阪 拓人、内藤 豊智、中津 佳之、山下 順貴、
斉藤 有紗、村田 陽介、赤澤 悠、田中 知子、内藤 達志、高橋 和人、
大谷 昌弘、中本 安成

福井大学医学系部門消化器内科

S2-7

MEFV遺伝子変異を有するIBDU症例の事後解析：E148Q変異の接合性の違いによる臨床像や腸内細菌の検討

○我妻 康平(わがつま こうへい)¹⁾、小林 拓³⁾、松本 主之³⁾、江崎 幹宏⁴⁾、渡辺 憲治⁵⁾、石川 大⁶⁾、櫻庭 裕丈⁷⁾、上野 伸展⁸⁾、横山 薫⁹⁾、猿田 雅之¹⁰⁾、穂苅 量太¹¹⁾、久松 理一¹²⁾、仲瀬 裕志²⁾

- 1) 札幌医科大学 医学部 内科学講座 消化器内科学分野、
- 2) 北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター、
- 3) 岩手医科大学医学部内科学講座 消化器内科消化管分野、
- 4) 佐賀大学医学部 内科学講座消化器内科、5) 富山大学附属病院 炎症性腸疾患内科、
- 6) 順天堂大学医学部附属順天堂医院 消化器内科、7) 弘前大学 消化器血液免疫内科学講座、
- 8) 旭川医科大学 内科学講座消化器内科学分野、9) 北里大学医学部 消化器内科学、
- 10) 東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科、11) 防衛医科大学校病院 消化器内科、
- 12) 杏林大学医学部 消化器内科学

S2-8

LRGとIL-22依存腸管上皮由来バイオマーカーproHpの組み合わせによるUC治療選択モデル

○良原 丈夫(よしはら たけお)¹⁾、左近 太佑²⁾、朝倉 暢彦³⁾、天野 孝広¹⁾、高橋 美佑¹⁾、箕浦 悠太郎¹⁾、澤 宏樹¹⁾、小川 美瑛¹⁾、辻井 悠里¹⁾、大竹 由利子¹⁾、近藤 純平²⁾、新崎 信一郎⁴⁾、飯島 英樹⁵⁾、三善 英知²⁾、小玉 尚宏¹⁾

- 1) 大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学、2) 大阪大学大学院医学系研究科 生体病態情報科学、
- 3) 大阪大学 数理・データ科学教育研究センター、4) 兵庫医科大学 消化器内科学、
- 5) 大阪けいさつ病院 消化器内科

イブニングセミナー

18:00 ～ 18:50

座長：仲瀬 裕志（札幌医科大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野）

潰瘍性大腸炎治療における新たな選択肢

-S1P受容体調節薬ベルスピティの作用機序と臨床的意義-

○根本 泰宏(ねもと やすひろ)

東京科学大学教育研究組織大学院 医歯学専攻・器官システム制御学講座 消化器病態学分野

共催：ファイザー株式会社

【第2日目】7月31日（金）

講演会場

ニューオータニイン札幌「2F 鶴の間（東中）」

モーニングセミナー

8:00 ～ 8:50

座長：小玉 尚宏（大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学講座）

「 - 複合免疫療法時代におけるレンバチニブの役割 - 」

治療目標別アプローチから再構築する肝細胞癌集学的治療－LEN-TACEの戦略的位置づけ－

○推井 大雄（すいひ ひろかず）

JA北海道厚生連札幌厚生病院 消化器内科（肝胆膵内科）

免疫療法時代におけるレンバチニブの役割 FGF/FGFR経路の意義を踏まえて

○須田 剛生（すだ ごうき）

北海道大学大学院医学研究院 内科学講座消化器内科学教室

共催：エーザイ株式会社

一般演題 3

9:00 ～ 9:36

司会：穂苅 量太（防衛医科大学校（医学教育部医学科進学課程及び専門課程、動物実験施設、共同利用研究施設、病院並びに防衛内科学））

03-1 CXCL16欠損は腸内細菌叢を介してDSS誘導腸炎を軽減する

○下森 雄太（しももり ゆうた）¹⁾、横山 佳浩¹⁾、秋田 浩太郎¹⁾、中村 友哉¹⁾、菓 裕貴²⁾、我妻 康平¹⁾、石上 敬介¹⁾、仲瀬 裕志¹⁾

1) 札幌医科大学 内科学講座 消化器内科学分野、

2) 鳥取大学医学部 統合内科医学講座 消化器腎臓内科学分野

03-2 難治性潰瘍性大腸炎に対する抗TNF- α 抗体無効時のJAK阻害剤と抗IL-12/23抗体の有効性比較

○都築 義和（つづき よしかず）、宮口 和也、松本 悠、今枝 博之

埼玉医科大学 消化管内科

03-3 N-アセチルグルコサミンは大腸炎に伴うムチン糖鎖異常と腸内細菌のディスバイオーシスを改善する

○沖本 香菜子（おきもと かなこ）¹⁾、鈴木 功一郎¹⁾、加藤 紀彦²⁾、片山 高嶺²⁾、森田 達也³⁾、長谷 耕二^{1,4,5)}

1) 慶應義塾大学大学院 薬学研究科、2) 京都大学大学院 生命科学研究科、3) 静岡大学 農学部、

4) 東京大学 医科学研究所、5) 福島大学 食農学類 発酵醸造研究所

03-4 潰瘍性大腸炎に対するグセルクマブ皮下注導入療法の分子炎症への影響：第Ⅲ相ASTRO試験の結果から

○杉本 健(すぎもと けん)¹⁾、Swati Venkat²⁾、Sunandini Sridhar²⁾、Barbara Shaikh²⁾、Klebea Sohn²⁾、Yelina Alvarez²⁾、Tom Baker²⁾、Matthew Germinaro²⁾、佐々木 絢子³⁾、Jessica R. Allegretti⁴⁾、Millie Long⁵⁾、David T Rubin⁶⁾、Laurent Peyrin-Biroulet⁷⁾

1) 浜松医科大学医学部内科学第一講座、

2) Janssen Research & Development, LLC, Spring House, PA, USA、

3) Johnson & Johnson、

4) Division of Gastroenterology, Hepatology, and Endoscopy、

Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School, Boston, MA, USA、

5) Division of Gastroenterology and Hepatology, University of North Carolina at Chapel Hill, Chapel Hill, NC, USA、

6) University of Chicago Medicine Inflammatory Bowel Disease Centre, Chicago, IL, USA、

7) University of Lorraine, Inserm, NGERE, F-54000 Nancy, France and Groupe Hospitalier privé Ambroise Paré-Hartmann, Paris IBD Centre, 92200 Neuilly sur Seine, France

教育講演 2 (スポンサードセミナー)

10:30 ~ 11:00

座長：渥美 達也 (北海道大学 名誉教授)

神経炎症の免疫機構：老化と微生物が関与する病態形成

○三宅 幸子(みやけ さちこ)

順天堂大学大学院医学研究科免疫学

共催：東亜新薬株式会社

一般演題 4

11:04 ~ 11:40

司会：中本 安成 (福井大学 学術研究院医学系部門)

04-1 急性肝不全におけるがん抑制遺伝子p53活性化を介した骨髄由来マクロファージの動員と病態進展

○成 志弦(そん ちひょん)、成 志弦、牧野 祐紀、河本 泰治、加藤 聖也、福本 賢二、明神 悠太、坂根 貞嗣、村井 一裕、齋藤 義修、疋田 隼人、小玉 尚宏

大阪大学大学院医学系研究科消化器内科学

04-2 新規自己抗体DOK2およびMRPS27の併用測定による自己免疫性肝炎診断能の向上

○阿部 和道(あべ かずみち)¹⁾、和田 淳^{1,2)}、阿部 直人¹⁾、菅谷 竜朗¹⁾、藤田 将史¹⁾、林 学¹⁾、大平 弘正¹⁾

1) 福島県立医科大学消化器病学講座、2) 福島県立医科大学会津医療センター消化器内科

04-3 慢性肝疾患における筋肉-肝臓-骨髄連関の解析

○森 泰三(もり たいぞう)、Zayor Phy、南波 宏征、由雄 祥代

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究センター 免疫病態研究部

04-4 IgA 腎症扁桃における APRIL (A ProlifeRation-Inducing Ligand) の検討

○高原 幹 (たかはら みき)

旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

教育講演 3 (スポンサードセミナー)

11:50 ~ 12:20

座長：竹原 徹郎 (独立行政法人労働者健康安全機構 関西労災病院)

ウイルス性肝炎を含む肝疾患における形質細胞様樹状細胞 (pDC) の役割

○中本 伸宏 (なかもと のぶひろ)

慶應義塾大学医学部 内科学 (消化器)

共催：アッヴィ 合同会社

ランチョンセミナー 2

12:30 ~ 13:20

座長：桂田 武彦 (北海道大学病院 光学医療診療部)

「Re-shaping the Standard -潰瘍性大腸炎治療の新潮流-」

潰瘍性大腸炎の免疫病態と治療の進歩 ～ゲセルクマブのエビデンスを含めて～

○角田 洋一 (かくた よういち)

東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野

共催：ヤンセンファーマ株式会社

特別講演 2

13:30 ~ 14:20

座長：金井 隆典 (慶應義塾大学医学部内科学教室 消化器内科教授)

「潰瘍性大腸炎における抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 自己抗体の発見とその病態研究、診断薬・治療法開発」

潰瘍性大腸炎における抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 自己抗体の発見とその病態研究、診断薬・治療法開発

○塩川 雅広 (しおかわ まさひろ)

京都大学大学院医学研究科消化器内科学講座

座長：藤谷 幹浩（旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野）

**炎症性腸疾患における血清免疫プロファイル
—分子標的治療の有効性との関連**

○三好 潤（みよし じゅん）

杏林大学医学部 消化器内科学

共催：武田薬品工業株式会社

教育講演 4（スポンサードセミナー）

15:25 ～ 15:55

座長：日浅 陽一（愛媛大学大学院医学系研究科 消化器・内分泌・代謝内科学）

免疫学からみたB型肝炎診療：HBs抗原消失とHBV再活性化

○由雄 祥代（よしお さちよ）

国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究センター 免疫病態研究部

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社

評議員会・総会

16:05 ～ 16:35

土屋賞受賞講演

16:40 ～ 16:55

[土屋賞]

研究課題：
腸管免疫の恒常性維持機構および炎症性腸疾患の免疫病態解明に関する革新的研究

金井 隆典（かない たかのり）

慶應義塾大学医学部内科学（消化器）

表彰式・閉会式

16:55 ～ 17:05

ポスター会場

ニューオータニイン札幌「2F 鶴の間（西）」

ポスター 1

9:40 ~ 10:20

司会：由雄 祥代（国立国際医療センター）

P1-1 MASLDモデルマウスにおけるMASP-1とMASP-3の腸肝相関への影響

○林 学（はやし まなぶ）¹⁾、阿部 和道¹⁾、関根 英治²⁾、大平 弘正¹⁾

1) 福島県立医科大学消化器内科学講座、2) 福島県立医科大学免疫学講座

P1-2 CD4⁺ T-Cell Responses Following Bariatric Surgery in MASLD

○Sachiyo Yoshio¹⁾、ZAYAR PHYO¹⁾、Hiromasa Namba¹⁾、Taizo Mori¹⁾、
Takumi Kawaguchi²⁾

1) Japan Institute for Health Security, Department of Human Immunology and Translational Research、
2) Kurume University, Department of Gastroenterology

P1-3 HBs/HBc抗原経鼻ワクチンの投与による免疫抑制下でのHBV特異的免疫の誘導

○島本 豊伎（しまもと とよき）、吉田 理、矢野 怜、岡崎 雄貴、中村 由子、行本 敦、
渡辺 崇夫、徳本 良雄、廣岡 昌史、阿部 雅則、日浅 陽一

愛媛大学大学院 消化器・内分泌・代謝内科学

P1-4 代謝異常関連脂肪性肝疾患（MAFLD）患者における末梢血由来単球の検討

○鶴藺 翔大（つるぞの しょうた）、榎谷 亮太、上杉 皐稀、岡田 亜武、麻野 秀一、
田中 恵美子、久保田 芽里、朝井 章

大阪医科薬科大学病院 中央検査部

P1-5 M細胞を介した腸管内抗原認識はモデルマウスにおけるIgG4関連自己免疫膵炎を増悪させる

○中村 友哉（なかむら ともや）¹⁾、石上 敬介¹⁾、秋田 浩太郎¹⁾、下森 雄太^{1,2)}、
平野 雄大³⁾、横山 佳浩¹⁾、我妻 康平¹⁾、沼田 泰尚¹⁾、仲瀬 裕志¹⁾

1) 札幌医科大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野、2) 大分大学 医学部 消化器内科学講座、
3) 大阪公立大学 医学研究科 ゲノム免疫学講座

司会：高木 智久（京都府立医科大学消化器内科学教室）

P2-1 潰瘍性大腸炎における糞便中ピロドキサミン低下と酸化還元依存的腸内細菌叢変化

○田中 翔（たなか しょう）¹⁾、山村 凌大²⁾、桂田 武彦¹⁾、清水 智弘³⁾、高橋 大介³⁾、
近藤 英司⁴⁾、岩崎 倫政³⁾、玉腰 暁子⁵⁾、須田 互⁶⁾、曾我 朋義⁷⁾、福田 真嗣⁷⁾、
園下 将大²⁾、坂本 直哉¹⁾

- 1) 北海道大学大学院医学研究院 内科学講座 消化器内科学教室、
- 2) 北海道大学 遺伝子病制御研究所 がん制御学分野、
- 3) 北海道大学大学院医学研究院 専門医学系部門 機能再生医学分野 整形外科学教室、
- 4) 北海道大学病院 スポーツ医学診療センター、
- 5) 北海道大学大学院医学研究院 社会医学分野 公衆衛生学教室、
- 6) 特定国立研究開発法人理化学研究所 統合生命医科学研究センター 共生微生物叢研究チーム、
- 7) 慶應義塾大学 先端生命科学研究所

P2-2 潰瘍性大腸炎メサラジン不耐症の病態における好酸球炎症の関与

○石戸谷 奈緒（いしどや なお）¹⁾、肥塚 慶之助²⁾、
太田 真二¹⁾、明本 由衣³⁾、芦田 雄汰朗¹⁾、村井 康久¹⁾、雨森 恭子¹⁾、
蓮井 桂介¹⁾、菊池 英純¹⁾、平賀 寛人⁴⁾、植木 重治²⁾、櫻庭 裕丈¹⁾

- 1) 弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座、
- 2) 秋田大学大学院医学系研究科病態制御医学系 総合診療・検査診断学講座、
- 3) 弘前大学医学部附属病院 病理部、4) 弘前大学大学院保健学研究科 生体検査科学領域

P2-3 潰瘍性大腸炎に対するJAK阻害剤の血液検査学的変化 -ウパダシチニブとトファシチニブの比較-

○武部 友寛（たけべ ともひろ）¹⁾、石田 夏樹¹⁾、丹羽 智之³⁾、高橋 賢一¹⁾、浅井 雄介¹⁾、
山出 美穂子¹⁾、岩泉 守哉²⁾、濱屋 寧¹⁾、山田 貴教³⁾、大澤 恵⁴⁾、杉本 健¹⁾

- 1) 浜松医科大学 内科学第一講座、2) 浜松医科大学 検査部、3) 浜松医科大学 光学医療診療部、
- 4) 浜松医科大学 地域連携先端医療学講座

P2-4 プロテアソーム阻害剤のデキストラン硫酸ナトリウム誘発マウス大腸炎に対する効果

○安藤 朗（あんどう あきら）^{1,2)}、酒井 滋企²⁾、西田 淳史²⁾、岩下 拓司²⁾

- 1) 川西市立総合医療センター IBDセンター、2) 滋賀医科大学医学部消化器内科

P2-5 リツキシマブ投与後に発症した縦走潰瘍を呈した大腸炎の1例

○小野山 裕亮（おのやま ゆうすけ）、岡部 誠、冬野 貴之、並川 実桜、北本 博規、
妹尾 浩

京都大学医学部附属病院

司会：上村 修司（鹿児島大学 医歯学総合研究科）

P3-1 食事タンパク質源は腸内細菌叢を介して腸管感染抵抗性を規定する

○井上 幸信（いのうえ ゆきのぶ）、伊藤 雅洋、羽田 健、金 倫基
北里大学 薬学部 微生物学教室

P3-2 非セリアックグルテン過敏症患者における抗グリアジン IgG 抗体陽性とサイトカイン等の関連性の検討

○本山 美久仁（もとやま みくに）、山田 恒、吉村 知穂、松永 寿人
兵庫医科大学精神科神経科学講座

P3-3 高濃度に維持される内因性の可溶型 ST2 が食物アレルギーを抑える

○小嶋 まゆき（こじま まゆき）^{1,2)}、伊沢 久未¹⁾、安藤 智暁¹⁾、前田 啓子¹⁾、貝谷 綾子¹⁾、
山本 里彩^{1,2)}、稲毛 英介²⁾、工藤 孝広²⁾、大塚 宜一²⁾、東海林 宏道²⁾、
清水 俊明²⁾、北浦 次郎¹⁾
1) 順天堂大学 大学院医学研究科 アトピー疾患研究センター、2) 順天堂大学 小児科

P3-4 大腸腫瘍患者における IgA 抗体の異常と短鎖脂肪酸産生腸内細菌叢の変化

○高 世詠（こう せよん）¹⁾、中村 凌²⁾、曾 睿夫²⁾、山下 大生³⁾、古谷 弦太¹⁾、
高橋 慧崇¹⁾、森田 直樹¹⁾、小山 正平³⁾、大木 大輔²⁾、竹内 千尋²⁾、辻 陽介²⁾、
藤城 光弘²⁾、新藏 礼子¹⁾
1) 東京大学大学院 薬学系研究科、2) 東京大学医学部附属病院消化器内科、
3) 国立がん研究センター

P3-5 乳酸産生菌由来フェリクロームが標的とする C11orf97 を介した大腸癌制御機構

○小西 弘晃（こにし ひろあき）^{1,2)}、安藤 勝祥²⁾、林 龍之介²⁾、盛一 健太郎²⁾、藤谷 幹浩^{1,2)}
1) 旭川医科大学 消化器先端医学講座、2) 旭川医科大学 内科学講座（消化器内科学分野）